

がん種	非小細胞肺がん		催吐リスク	高度(催吐性)リスク
レジメン名	(nonsquamous) CDDP+PEM+pembrolizumab		点滴投与時間	4h35m
1コース期間	21days		休薬期間	day2-21

処方No.	薬品名・用量	投与方法	注入時間
	<b>day1</b>		
	アプレピタント 125mg 抗がん剤投与60~90分前に内服	経口	
①	生食 50mL	点滴静注	ルート確保用
②	キイトルーダ( 200mg/body ) + 生食 100mL	点滴静注	30分
③	生食 50mL	点滴静注	ルートフラッシュ
④	デキサート 9.9mg + アロキシ点滴静注用	点滴静注	15分
⑤	アリムタ( 500mg/m <sup>2</sup> ) + 生食 50mL	点滴静注	10分
⑥	アスパラギン酸K注 10mEq + 硫酸Mg補正液 8mL + ソルデム1 500mL	点滴静注	1時間
⑦	マンニトールS 300mL	点滴静注	30分
⑧	ランダ( 75mg/m <sup>2</sup> ) + 生食 500mL(全量500mL)	点滴静注	1時間
⑨	アスパラギン酸K注 10mEq + ソルデム1 500mL	点滴静注	1時間
	<b>day2.3</b>		
	アプレピタント 80mg 内服	経口	
	デカドロン錠 8mg/day (1~2回分服)	経口	
	葉酸:本剤初回投与の7日以上前から葉酸として1日1回0.5mgを連日経口投与する。なお、本剤の投与を中止又は終了する場合には、本剤最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。		